

## 目 次

第 1 章	はじめに	1
1.1	各種合成部材，複合構造の設計の現状	1
1.2	委員会の設立主旨と最終的な目標	2
1.3	本報告書の構成	2
第 2 章	複合構造の耐荷メカニズム	3
2.1	耐荷メカニズム解明の有用性	3
2.2	複合構造の性能と耐荷メカニズム	3
2.3	耐荷メカニズムに影響を及ぼす要因	8
2.4	複合構造（合成構造）とパフォーマンス	23
第 3 章	合成はりの耐荷メカニズム	25
3.1	合成はりの設計曲げ耐力算定法の変遷	25
3.2	合成はりの耐荷メカニズムに関する実験的検討	34
3.3	合成はりの耐荷メカニズムに関する解析的検討	47
3.4	おわりに	67
第 4 章	鋼コンクリート合成版の耐荷メカニズム	69
4.1	鋼コンクリート合成版の概要	69
4.2	鋼コンクリート合成版の検討課題	70
4.3	既存の基準類における安全性の照査方法	70
4.4	鋼コンクリート合成版のせん断破壊に関する代表的な研究	71
4.5	鋼コンクリート合成版のせん断耐荷メカニズムの検討	73
4.6	合成版（一方向版）の損傷イベント	89
4.7	今後の設計思想と課題	91
第 5 章	鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）部材の耐荷メカニズム	93
5.1	本章のポイント	93
5.2	軸力と曲げを受ける SRC 部材	94
5.3	両端固定支持 SRC はりの損傷過程	110
5.4	鉄骨配置が耐荷メカニズムに及ぼす影響（単純支持）	135
5.5	鉄骨配置の違いによる耐荷メカニズムへの影響に関する検討	173
付録 5A	鋼材配置に応じたせん断耐力評価のその他の解析結果	191

第6章	コンクリート充填鋼管（CFT）部材の耐荷メカニズム	219
6.1	検討課題	219
6.2	既存の設計法の整理	219
6.3	繰り返し載荷に対する耐荷メカニズムの検討	221
6.4	供用時の評価および対策	231
6.5	おわりに	233
第7章	異種部材接合部の耐荷メカニズム	235
7.1	概要	235
7.2	既存の接合構造と設計思想	239
7.3	接合部における力の伝達と解析的検討	244
7.4	発展型設計思想について	276
第8章	おわりに	289